

I am Jazz! (ジャズ・スーパー列伝)

ジャズの発展に貢献し、その歴史に名を刻んだ名プレイヤーたち。その人生は、楽器が異なる如く千差万別。このコーナーでは、そんな個性的なジャズマンたちの功績を称え、生き様を紹介することで、より多くの人々にジャズの素晴らしさを伝えていきたい。

Vol. 64

Don Shirley【ドン・シャーリー】

～博士号を持つ名ジャズ・ピアニスト～



Photo : Don Shirley "Don Shirley Pian" (Dol)

Profile

1927年1月29日、米国フロリダ州ペンサコーラ生まれ。本名はDonald Walbridge Shirley。両親はジャマイカ系移民で、母親は教員、父親は米国聖公会司祭。2歳でピアノを弾き始める。ヴァージニア州立大学とブレイリー・ビュー・カレッジに通った後、カトリック・ユニバーシティ・オブ・アメリカでコンラッド・ベルニエとジョージ・サディアス・ジョーンズに師事。45年にボストン・ポップス・オーケストラ、翌46年にはロンドン・フィルハーモニー管弦楽団と共演。49年にハイチ政府の招聘を受けてポルト・ブランス万国博覧会で演奏。2年にジーン・C・ヒルと結婚（後に離婚）。54年に、シカゴでボストン・ポップス・オーケストラと再共演し、55年にはカーネギー・ホールでNBC交響楽団と共演し、エリントンのピアノ協奏曲初演を務めた。この頃、人気テレビ番組「アーサー・ゴッドフリー・アンド・ヒズ・フレンズ」にも出演。55年から62年にかけて、ケイデンス・レコードで16枚のアルバムを残す。シングル「ウォーター・ボーイ」はビルボード Hot 100で40位にランクインし、14週チャートインした。60年代は精力的にコンサートツアーを行った。62年に実際に行われたアメリカ南部を回るツアーにインスパイアされた作品が、2018年に映画『グリーンブック』としてドラマ化された。72年にアトランティック・レコードからアルバムをリリース以降、2001年までアルバムのリリースはなかった。クラシック音楽の影響を受けた実験的なジャズとピアノ、ベース、チェロという珍しい編成でも知られた。日本を含めてあまり知られていない存在だったが、映画『グリーンブック』の大ヒットで世界中でその名が知られることになった。2013年4月6日、心臓病のため息を引き取る。享年86歳。

DS's Great Album

ケイデンス・レコードに残された名盤をはじめ、チェロを導入するなど、ドン・シャリー一人ならではのクラシック音楽の影響を受けた実験的なジャズ作品を体感して欲しい。

ドン・シャリーの記念すべきデビュー・アルバム



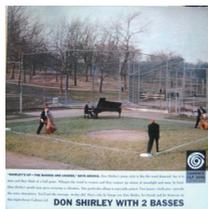
トナル・エクスプレッションズ ドン・シャリー

(Cadence : CLP-1001) [Import CD]

ドン・シャリー (p)、
リチャード・デイヴィス (b)

[Side-A] 1. アイ・カヴァー・ザ・ウォーター
フロント 2. ノー・トゥー・ピープル [Side-B] 1.
ダンシング・オン・ザ・セイリン (他、全10曲)

ベースマン2人とコード
デザインした
ドン・シャリーの傑作



ドン・シャリー・ウィズ・2ベース ドン・シャリー

(Cadence : CLP-3008) [Import CD]

ドン・シャリー (p)、ケン・フリッカー、
ジム・ポンド (b)

[Side-A] 1. ボギー&ベス・スイート 2. ポルカ・
ドッツ・アンド・ムーンビームス [Side-B] 1. ジ
ーズ・フーリッシュ・シングス (他、全8曲)

シングル「ウォーター・
ボーイ」
を含む60年代の名作



ウォーター・ボーイ ドン・シャリー・トリオ

(Columbia : CL-2396) [Import CD]

ドン・シャリー (p)、ケン・フリッカー
(b)、ジュリ・タート (Cello)

[Side-A] 1. ウォーター・ボーイ 2. ホエアズ・
マイ・ベス [Side-B] 1. ブルー・スカイズ 2. ア
ディュ・マドラス (他、全10曲)

1955年に発表された
ドン・シャリーの記念すべ
きデビュー・アルバム。ベースは
何とリチャード・デイヴィス！他の楽
器は不参加のため、シャリーとリチャ
ード・デイヴィスのデュオがじっくり聴け
る。ガーシュイン・ナンバー3曲を含む
スタンダードで構成され、10曲に渡って
若きシャリーの名演が聴ける。カー
ネギー・ホールでNBC交響楽団と
共演した時期でもあり、シャリー
一の才能を垣間見ることが
出来るアルバム。

ジャケットは公園の中
の草野球場で、一塁ベース
と三塁ベースにそれぞれベースマ
ンが守備位置に付き、シャリーが
二塁ベース上でピアノを弾いているユニ
ークなデザイン。全員赤いキャップを被
っているが、ベース上のアンパイアは誰の
かは不明…。ベースマンの正体はケン・
フリッカーとジム・ポンド。スタンダード・
ナンバーを中心にシャリーとベー
スマン2人の共演が聴ける。全
8曲収録で、1957年に発
表されたアルバム。

Side-Aのトップを飾
る「ウォーター・ボーイ」は
シングルカットされ、ビルボード
Hot 100で40位にランクインし、14
週チャートインしたヒット・ナンバー。
シャリーのオリジナル3曲「イン・ア
ムーリッシュ・マーケットプレイス」「ア
ディュ・マドラス」「フリーダム」を含む
10曲を収録。ベースのケン・フリッカー、
チェロのジュリ・タートとのピアノ・ト
リオにより、クラシックと融合させ
た実験的なジャズが体感で
きる。1960年発表。

ドクター・シャリー

ドクター・シャリー (Dr. Shirley) との名称でも知られたドン・シャリーは1945年、弱冠18歳でボストン・ポップス・オーケストラと共にチャイコフスキーの「ピアノ協奏曲第1番」を演奏。英語の他、イタリア語、ロシア語等、8つの言語をマスターしていたと言われ、画家の専門家でもあった。ドクター・シャリーと称されたのは心理学・音楽・典礼芸術で博士号 (Ph.D) を持っていたことに由来する。1949年にはハイチ政府の招聘を受けてポルトープランス万国博覧会で演奏。ケネディ大統領に招かれてホワイトハウスで演奏したこともある。

グリーンブック

第91回アカデミー賞で作品賞と脚本賞を獲得した2018年の映画『グリーンブック』は、ドン・シャリーと運転手兼ボディガードを務めたイタリア系アメリカ人の警備員トニー・ヴァレロンガによって1962年に実際に行われたアメリカ南部を回るツアーにインスパイアされた作品。この作品でシャリー役を務めたマハーシャラ・アリが助演男優賞も獲得し話題となり、トニー・ヴァレロンガ役はヴィゴ・モーテンセンが努めた。この作品でシャリーがNYのカーネギー・ホールの上にある高級アパートに住んでいたことを知ったジャズ・ファンも多かっただろう。

Jazz Standards (ジャズ名曲列伝) Vol.37

~ Remember [リメンバー] ~

この曲は1925年に発表されたアーヴィング・バーリンが作曲・作詞を手掛けた曲で、前年1924年のクリスマスに恋人のエリン・マッキイを想って完成させた作品。アイサム・ジョーンズ楽団のレコードがチャート1位を記録。バーリンは正式な音楽教育を受けたことはなく、楽譜の読み書きは出来なかったと言われるが、ガーシュウィンに「アメリカのシューベルト」と言わしめた。数多くのアーティストに取り上げられ、現在も親しまれている。

★この名曲が聴けるお薦めのアルバム

- ビリー・ホリデイ 『アン・イヴニング・ウィズ・ビリー・ホリデイ』
- セロニアス・モンク 『アローン・イン・サンフランシスコ』
- ハンク・モブレー 『ソウル・ステーション』
- ザ・モンゴメリー・ブラザーズ 『ブルーヴ・ヤード』
- ジョシュア・レッドマン 『スピリット・オブ・ザ・モーメント』